

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 392 号	氏名	柴田 健一郎
学位審査委員		主査	中尾 一彦
		副査	兼松 隆之
		副査	田口 尚
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、食道扁平上皮癌における Angiopoietin-like protein 4 (ANGPTL4) 発現の臨床病理学的意義について検討を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>根治手術を受けた食道扁平上皮癌患者 106 例を対象とし、ANGPTL4 の免疫組織学的な発現と臨床病理学的指標（年齢、性別、癌の分化度、TNM 因子、脈管侵襲、全生存期間、無再発生存期間）との関連について統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>ANGPTL4 の発現は癌の低分化度、リンパ管侵襲、静脈侵襲と有意に関連していること、特に静脈侵襲の独立した予測因子であることが明らかとなった。さらに、ANGPTL4 陽性症例は全生存期間、無再発生存期間とも有意に短い傾向が認められた。本研究結果は、食道扁平上皮癌の浸潤、転移機構の解明に繋がる可能性が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は食道扁平上皮癌の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			